

第2回 日仏 MSM 操作技術競技大会 競技ルール

1. 基本ルール


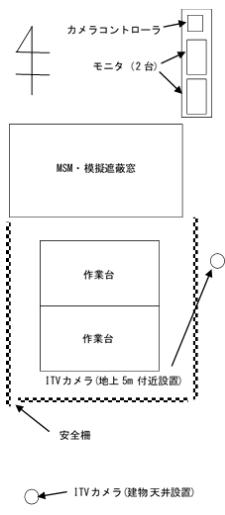


- ①国内から参加する場合は各社1チーム、海外から参加する場合は各社2チーム以内のエントリーとし、チームの掛け持ちは不可とする。
- ②個人戦はトーナメント形式で出場者は1名とする。団体戦は1戦限りのタイムアタック形式で出場者は2名とする。エキシビジョンの出場者については制限なしとする。
- ③必要に応じて ITV カメラの使用を可とする。カメラ操作は、チーム員の内、進行中の競技に出場していない者が行うこと。
- ④個人戦、団体戦それぞれで優勝チームを決定する。また、個人戦および団体戦の合計点数にて総合優勝を決定する。合計点数が同じとなった場合は、個人戦で持ち時間を多く残したチームを上位とする。なお、エキシビジョンは技術力披露のみとし、加点はなしとする。
- ⑤個人戦および団体戦で優秀な成績を収めたチームにはメダルを贈呈する。また、総合優勝チームにはその栄誉を称え、盾を贈呈する。

2. 使用機器

ラ・カレーネ社製 MT200 ノーマル型 1 基 (左側)、フルバランス型 1 基 (右側)。

3. 設備環境

模擬遮へい窓越しに目視にて作業台上で操作 (ITV カメラ 2 基使用可)。

2. 使用機器		3. 設備環境						
		 <p>カメラコントローラ モニター (2 台) MSM・模擬遮蔽窓 作業台 作業台 ITVカメラ (地上 5m 付近設置) 安全柵 ITVカメラ (建物天井設置)</p>						
左：ノーマル型	右：フルバランス型	概略図	模擬遮へい窓&作業台	ITV カメラモニタ				




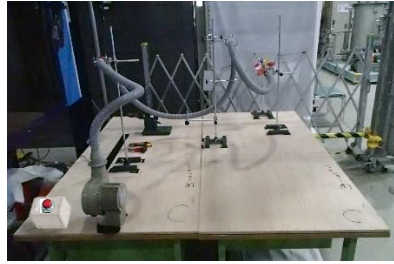





第2回 日仏 MSM 操作技術競技大会 競技ルール

4. 個人戦 (トーナメント) : ジェンガ 代表1名

使用器材	ルール	禁止事項	備考													
・ジェンガ	<p>①トーナメント勝ち抜き戦とする (備考欄の「トーナメント表」参照)。組合せは開会式でのくじ引きで決定する。</p> <p>②先攻、後攻はコイントスで決定する (勝った方が決定権を獲得)。</p> <p>③先攻⇒後攻の順で、持ち時間内に引き抜いたピースをタワーの最上段に下段とクロスする方向 (旋回 90° 方向) に積む。ただし、引き抜くピースは最上段以外とする。</p> <p>※引き抜き時は、ピースを掴まなくてもよいし払い落としでもよい。</p> <p>④積み上げたピースが水平方向に 3 本積まれた時点でその段の下の段を引き抜き可とする。</p> <p>⑤持ち時間は各チーム 10 分とする。持ち時間の管理は、チェスクロック (備考欄の「チェスクロック」写真参照) で行う。出場者は、ピース積み上げ完了後、MSM のモーションロックをロックしたのち、チェスクロックを停止 (対戦チームのカウントダウン開始) させて交代する。</p> <p>※チェスクロックは手で操作する (MSM の操作対象ではない)。</p> <p>※先行チームがチェスクロックを作動させること。</p> <p>※交代は速やかに行うこと。</p> <p>⑥持ち時間を使い切るかタワーを倒壊させたチームが敗退。</p> <p>⑦引き抜いているピース以外のピースを落下させた場合または作業台下にピースを落下させた場合は、タワーを倒壊させたものと扱う。</p> <p>⑧引き抜く際に隣接するピースが動いて落下しそうになった場合は、必要に応じて修正を可とする。</p> <p>⑨順位に応じて下表の通り点数を付与する。</p> <table border="1" data-bbox="353 1348 1041 1441"> <tr> <td>1 位</td> <td>2 位</td> <td>3 位</td> <td>4 位</td> <td>5 位・6 位</td> <td>7 位・8 位</td> </tr> <tr> <td>50 点</td> <td>40 点</td> <td>30 点</td> <td>20 点</td> <td>15 点</td> <td>10 点</td> </tr> </table>	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位・6 位	7 位・8 位	50 点	40 点	30 点	20 点	15 点	10 点	<p>①MSM 両腕 (左右) の同時使用を禁止とする。(片腕でジェンガを押さえて、もう一方の腕で引き抜く等) ただし、ジェンガの引き抜きもしくは修正において、視認性の良い側の MSM への変更は可とする。</p> <p>②競技中に出場者を交代することは禁止とする。</p> <p>③チェスクロック停止後、MSM 前に居座り対戦相手の持ち時間を奪う行為を禁止する。</p>		
1 位	2 位	3 位	4 位	5 位・6 位	7 位・8 位											
50 点	40 点	30 点	20 点	15 点	10 点											
		引き抜き時	積み上げ時													
<p style="text-align: center;">優勝</p>  <p>5 試合目と 6 試合目の敗者同士で 3 位決定戦 (7 試合目) を行う。</p>																
トーナメント表																
																
チェスクロック																

第2回 日仏 MSM 操作技術競技大会 競技ルール

5. 団体戦 (タイムアタック) : 風車を回せ!! 代表2名

使用器材	ルール	禁止事項		備考																		
・送風機 ・レデューサ ・H型スタンド ・リング ・ニップル ・風車 ・ホース (3.2m) ・カッター ・金バサミ ・ホースバンド ・ドライバー ・スイッチ	①タイムアタック形式とする。競技順は開会式でのくじ引きで決定する。 ②作業台上の送風機 (レデューサ付き)、H型スタンド (リング付き)、H型スタンド (ニップル付き) および風車の間をホースで連結させ、送風機のスイッチをONとし、風車を回転させるまでに要する時間を競う。 ③送風機、H型スタンドおよび風車は、作業台上に固定する。 ④ホースのルートは、事務局が3パターンを作成し事前に公表する (YouTubeでの配信を予定)。開会式にて代表チーム (1チーム) がくじ引きを行い選ばれた1パターンが競技内容となる。	①出場者の途中交代およびMSM操作配置 (右⇄左) の途中交代は不可とする。																				
				物品初期配置 (イメージ)																		
	⑤ホースはカッターと金バサミで切断する。カッターの刃の出代は出場者が調整し、終了時に刃を本体に収める必要はない。ホースは2分割する。作業台上の0.8mのマーキングを目印とし、2.4mと0.8mに切り分ける。 ⑥ホースの口は、レデューサまたはニップルに差し込み、レデューサ部のみホースバンドで固定する。ホースバンドの固定にはドライバーを使用する。また、ホースは指定の順番でリングを通過させること。																					
		ホース (3.2m)	カッター	終了状態 (イメージ)																		
	⑦制限時間は1チーム15分とする。 ⑧時間の早い順に下表の通り点数を付与する。なお、風車が回転しない場合は0点とする。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> <th>4位</th> <th>5位</th> <th>6位</th> <th>7位</th> <th>8位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50点</td> <td>45点</td> <td>40点</td> <td>35点</td> <td>30点</td> <td>25点</td> <td>20点</td> <td>15点</td> </tr> </tbody> </table>	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	50点	45点	40点	35点	30点	25点	20点	15点				
		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位													
	50点	45点	40点	35点	30点	25点	20点	15点														
	金バサミ	ホースバンド	送風機+レデューサ	H型スタンド+リング																		
	⑨以下の項目に従い減点を行う。ただし、減点した結果0点以下となった場合は0点とする。 <ul style="list-style-type: none"> ホースバンドの付け忘れ、ホースバンドのボルトが手で回せる : -5点/1箇所 作業台上から物品を落下 : -5点/1個 (時間計測は止めず審判が拾う) ホースを順番通りにリングに通していない : -5点/1箇所 																					
ドライバー		スイッチ	H型スタンド+ニップル	風車																		

第2回 日仏 MSM 操作技術競技大会 競技ルール

6. エキシビジョン：自由競技 代表 1～3 名 (ORANO、JNFL、ATOX、J-tech のみ実施)

使用器材	ルール	禁止事項	備考
必要に応じて 各社持ち込み	①持ち時間内にて各社の技術力を披露することを目的とし、内容は自由とする。 ②制限時間は1チーム15分とする。 ③競技する順番は各社の代表がくじ引きにて決定する。		